

（2）今回の地震の発震機構（注2）

今回の地震の震央周辺の発震機構の分布を見ると、概ね北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層または横ずれ断層型の地震が多く発生している（図2－1、図2－2）。今回の地震の発震機構は北北西－南南東方向に圧力軸を持つ逆断層型であり、これまでの地震の傾向と調和的である。

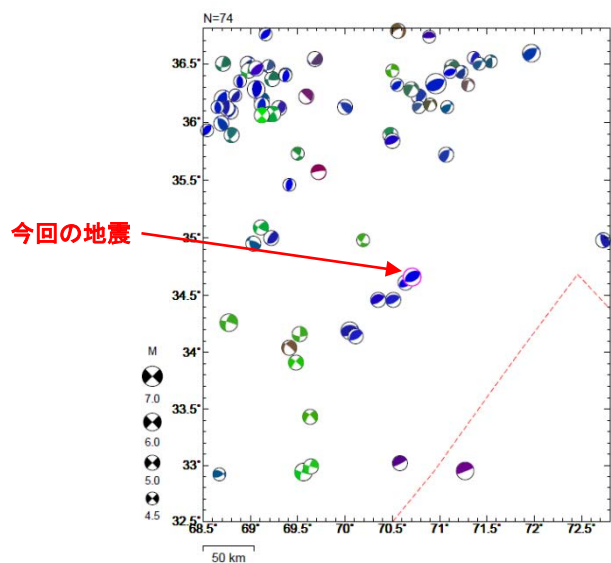


図2－1 発震機構分布図

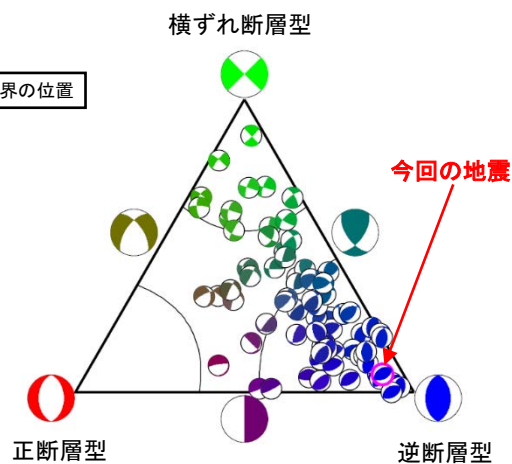


図2－2 発震機構の型の分布

（1980年1月1日～2025年9月30日、深さ0～100km、 $M \geq 4.5$ ）

正断層型の地震を赤色、逆断層型の地震を青色、横ずれ断層型の地震を緑色で表示（Frohlich(2001)による分類）。

（注2）震源要素及び発震機構はGlobal CMTによる。震源の位置はセントロイドの位置。プレート境界の位置はBird*（2003）より引用。

*参考文献 Bird, P. (2003) An updated digital model of plate boundaries, *Geochemistry Geophysics Geosystems*, 4(3), 1027, doi:10.1029/2001GC000252.